

授業に関するアンケート（2018 年度春学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね 4 ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
人間生活学科

（1）授業実施に関する質問結果について

1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。
一部の新規担当者による科目の一部を除き、概ねシラバスに即した授業が実施されている。また、シラバスどおりに実施しているものの、その周知を丁寧にすべきとの意見もあった。
2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。
概ね理解度の確認はできているようだ。大人数クラスの授業においては、理解度を確認する方法としてコメントペーパーやレポートなどの手法が採用されている。また、実習等の科目では授業中の学生の反応を確認しながら授業を進めているようだ。
3. 授業レベルは自分に合っていましたか。
一部科目において、合っていないとの回答が多かった科目もあるようだ。しかし、どのようなレベル設定が正解であるかは極めて難しい問題だと思われる。
4. 教員からの一方的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。
概ね良好であったが、一部の大人数授業のクラスで、一方的になりがちであったとの報告もあった。さらなる工夫が望まれる。
5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナビーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
一部の大人数クラスを除き、概ね良好であったが、科目により有効活用しやすいものと活用が難しいものがあるようにも思われる。学生の意識についても検討が必要との意見があった。
6. 言葉による説明だけではなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。
多くの授業において、教員は工夫を凝らしているように思われる。また、言葉による説明（言葉で説明するしかないもの）について、その説明方法に工夫が必要との意見や、画像などの言語でない媒体を使用した場合においても、それを理解するための言語的理解の基盤が必要との意見もあった。
7. 自主学習を促す工夫がなされていましたか。
本学科の学びの特性上、自主学習を時間で測定することが難しい科目も多い。学生の興味・関心に基づく自発的自主学習の重要性については、各教員の共通の理解であることから、自主学習の測定方法について、今後さらなる検討が必要である。
8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。
板書、パワーポイント、話し方、など各教員が工夫を模索しているようである。

（2）この授業の学修行動に関する質問結果について

9. この授業の予習、復習、自主学習に1週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。 ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。
実習科目では多くの時間が使われている。一方、本学科の学びの特性においては、通学の際にまちなみを観察する、自宅で過ごす中で什器配置を見直す、友人との日常会話の中から対人関係を包括的にとらえる等、これらのことは極めて重要な実生活における自主学習であるが、これらを時間で測ることは難しいと感じている。
10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。
各教員がクラスに応じた形式で工夫をしているようだが、引き続き検討すべき課題である。
11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
概ね良好な評価であった。

12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。
科目により多様であったが、総数では授業内容で履修を決めた学生が多いのではと思われる。

（3）この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたか。
概ね平均的な結果であったが、受講者数、実習/講義等、授業の特性により到達目標の設定しやすさや、目標の伝えやすさが異なるのではないかとと思われる。
14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
概ね良好な結果であった。
15. DWCLA10 の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください（複数選択可、なしも可）。
学科全体としては、創造力が他学科よりやや高く、コミュニケーション力が低い傾向がみられ、昨年度と比較して大きな差はなかった。自己管理能力がやや低下しているが、他学科にも同様の傾向が見られ、全学的傾向ではないと思われる。

（4）その他

--